



柳田法相 辞任

「国会軽視発言」巡り引責

柳田稔法相は22日、辞任の意向を固め、法務省幹部に伝えた。同日朝、菅直人首相とも協議し、辞意を伝えたとみられる。「国会答弁は二つ覚えておけばいい」という発言に野党が反発し、自民党はこの日午後、問責決議案を参院に提出する予定だった。

柳田氏は22日朝、首相官邸で菅首相と協議。協議後、「辞表を出したか」との記者団の問いに「後ほど」と答えた。

柳田氏は21日、法相を続投する考えを表明していた。柳田氏の進退をめぐるのは、菅首相や仙谷由人官房長官、岡田克也幹事長、輿石東参院議員会長らが21日夜、対応を協議。野党の出方や、今年度補正予算案の国会審議への影響を見極めながら、対応を決める方針を確認していた。

一方、自民党は柳田氏が辞任しなければ22日に問責決議案を提出する方針で、公明など他の野党も賛成し24日にも可決される見通し



首相官邸を出る柳田稔法相 22日午前8時25分、福岡亜純撮影

だった。

柳田法相の後任は、仙谷由人官房長官が兼務することが決まった。民主党の森裕子・参院予算委員会筆頭理事が22日午前の同委員会理事会で説明した。